

第2回目のアンケートにご回答いただき、ありがとうございました。集計結果を報告いたします。

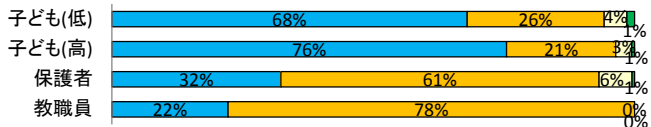
京都市立山ノ内小学校  
校長 松岡 泰史

凡例（左から） Aよくできている B大体できている Cあまりできていない Dできていない

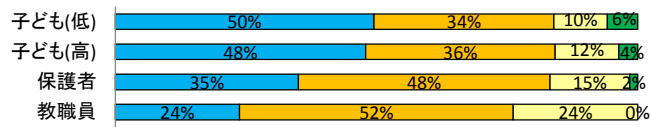
アンケートは、子ども・保護者・教職員それぞれによる自己評価です。子どもについては、自分自身の実現度を質問しています。保護者・教職員については、自分の子どもへのかかわり方での実現度について質問しています。

(例)児 童: 友だちと仲良く楽しい学校生活を送っている  
保護者: 誰とでも仲良くするように働きかけている。  
教職員: 友だちと仲良く楽しい学校生活が送れるよう学級づくりを進めている。

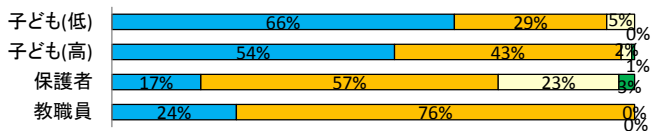
#### 友だちと仲良く、楽しい学校生活を送る



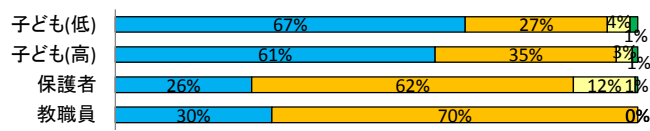
#### 早寝・早起き・朝ごはんを心がける



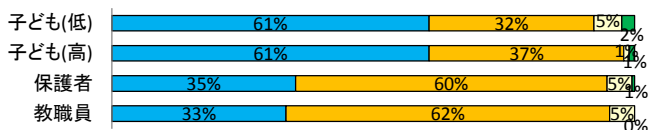
#### 掃除や片づけを最後までする



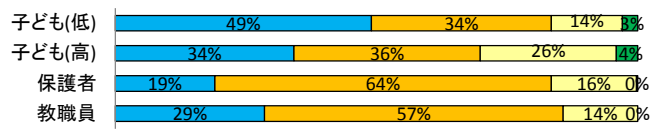
#### 人の話をしっかりと聞く



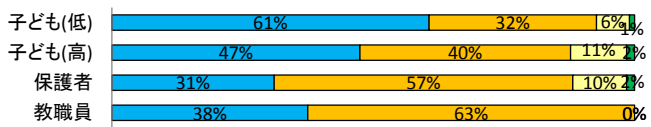
#### きまりや約束を守る



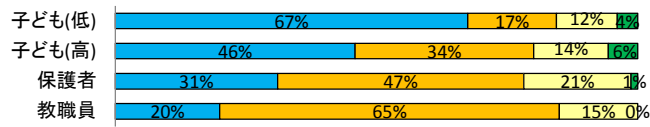
#### 自分の考えや思いを話す



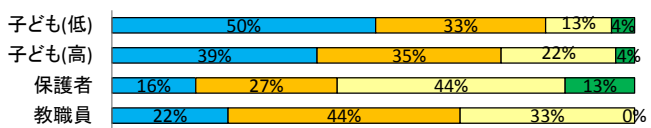
#### すすんであいさつをする



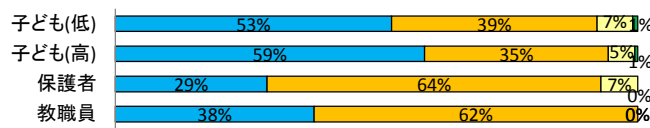
#### 外で元気に遊ぶ



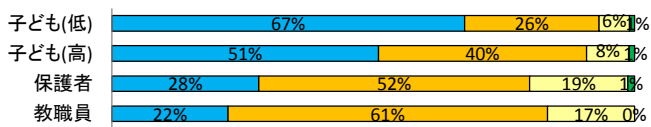
#### すすんで読書に取り組む



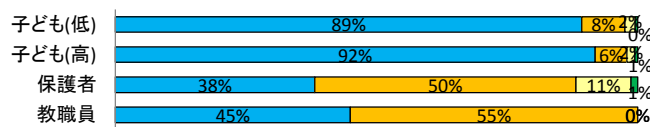
#### 相手の気持ちを考えて行動する



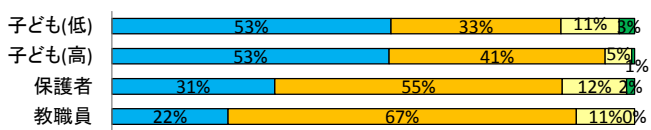
#### すすんで家庭学習に取り組む



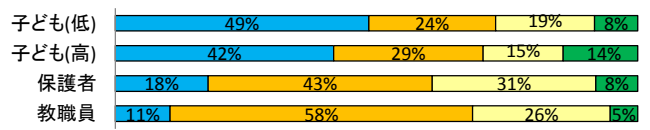
#### 人の「命」は何よりも大切なものであると思う



#### 学習の準備を忘れない



#### PTAや地域行事へ参加する



※教職員については、担任でないと答えられない項目もありますので、無回答は母数に入れていません。  
※グラフの数字は、全体の割合の概数ですので、0と表記されても、選択されている人もいます。



第2回目のアンケートにご回答いただき、ありがとうございました。集計結果を報告いたします。  
結果については学校評価委員会で取り上げ、協議しました。今後の学校教育に活かしていきたいと考えています。  
また、学校運営協議会でも報告し、地域の皆様とよりよい学校づくりを進めています。

## 〈分析と考察〉

### 1. 児童について

規範意識に関する質問に対しては、1回目のアンケートに引き続き、子どもたちはしっかりと規範意識が育っていると考えられます。

1回目のアンケートでは以下の項目を課題としてとらえていました。

- ・(10)自分の考えや思いを話す。 ・(12)外で元気に遊ぶ。

(10)「自分の考えや思いを話す」において、低学年では「あまりできていない」「できていない」が5ポイント下がりました。一方で、高学年では2ポイント上がってしまい約30%が出来ていないと回答しました。教職員の中にも、14%が働きかけを「あまりできていない」と答えています。子どもたちの学び合いを充実させるために、低学年の間に話す・聞くの指導を徹底しています。高学年では、子ども同士がわからないことを共有し、問題解決のために考えを深め、子ども自身で主体的な学習をすすめられる指導が必要です。

(12)「外で元気に遊ぶ」において、低学年・高学年共に「あまりできていない」「できていない」と答えた子どもが少なくなり、低学年は「よくできている」が5ポイント上がりました。低学年(特に1年生)が外で遊ぶ機会が増えたこと、担任自身が子どもたちと運動場で遊んでいること、なわとび月間の取組など、全校児童への働きかけの成果と考えられます。

(12)に対して改善が見られましたが、(10)に対しては今後も重要課題ととらえ、ともに学び考えを深める授業づくりを進めていきます。

### 2. 教職員について

1学期に続き、教職員は「よくできている」の割合が低く、「できていない」という回答も少ないです。教職員の働きかけと子どもたちのアンケート結果がつながっている項目もありました。教職員自身が「よくできている」と答えられる取組をしっかりと共有して、今後の教育に活かしたいと思います。

1回目のアンケートでは以下の項目を課題としてとらえていました。

- ・(5)読書の習慣が定着するように読書活動の取組を工夫している。
- ・(8)早寝、早起き、朝ごはんの生活習慣の定着に向けて、指導を繰り返している。
- ・(14)子どもがPTA行事や地域行事にすすんで参加できるよう詳しく知らせ、積極的に働きかけている。

(5)について、2学期は読書週間もありましたが、具体的な取組に至らず、「あまりできていない」が1回目の12%から33%と増えました。それに伴い、子どもたちの「よくできている」の項目は低学年で6ポイント、高学年では13ポイント下がっていました。読書習慣の定着は朝の読書タイムの読書だけでは十分でなく、全校的に具体的な取組を行うことが課題と考えます。

(8)については、大きな変化はみられませんでした。学校の取組としては、引き続き「みそあじあはは」を大切に、よく学び、よく食べ、よく寝ることを指導していきます。

(14)では、子どもたちにプリントを配る際、概要を説明して配布するように教職員同士で共通認識をしました。しっかりと取り組んでいる教職員も多く「あまり出来ていない」「出来ていない」と答えた教職員が16ポイント少なくなりました。また、2学期は、PTAや地域の行事も多くあり、子どもたちの参加率も高かったようで、子どもたちの「あまり出来ていない」「出来ていない」が低学年で8ポイント、高学年で3ポイント少なくなりました。

読書の取り組みについては、小・中学校でも連携をとり、よりよい読書の在り方を検討したいと思います。また、読書習慣の定着に向けて、読み聞かせやブックトークなどの取組を実践していきたいと思います。

### 3. 保護者について

今回「PTAや地域行事への参加」についても保護者の方の働きかけで「あまり出来ていない」「出来ていない」が1回目のアンケートと比べて、10ポイント少なくなりました。子どもたちへの地域行事への参加を促していただいた結果と考えます。また、自由記述からは、「音楽会」についてのご意見を多くいただきました。本校の特色である音楽活動をより充実した取組になるよう、次年度に向けて、検討・計画をしていきます。

## 〈今後について〉

アンケートにご協力いただきありがとうございました。子ども・家庭・学校がアンケートを通じて、それぞれ自己評価をすることで、学校教育全体をふり返る機会となりました。また、課題に対して、どのように解決していくかを考えることもできました。教職員が共通の意識をもって、学校教育の向上に努めていきます。また、自由記述欄は、音楽会以外にもたくさんご意見をいただきました。その中で「子どもが反抗期で…。」というご意見がたくさんありました。子どもたちにあれこれ指摘をすると嫌がることもあるかと思います。保護者の方は、子どもと寄り添いながらも、少し距離をおき、「子どもが自分で考えて、自分で決めることを待つ。」「必要なときに助ける。」「自分勝手なときに注意する。」といった考え方をしてみてください。また、「自主学習で目標をもって頑張っています。」ともありました。ご家庭では子どもたちに「15分×学年」を目安に家庭学習に取り組めるよう京都市では言われています。今後は、自学自習の大切さを指導することも教職員の課題と考えています。

今回のご意見やアンケート結果を受けまして、来年度のアンケート内容の検討を図りますので、お知らせください。アンケートの記入について、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

